



延喜式内名神大社

生島足島神社便り

第 64 号



ごあいさつ (暦と厄と年祝い)	2
夏詣で／境内環境整備 (神池の水抜き／枯れ木の伐採)	3
山崎宮司就任披露パーティー	4
12月～4月までの祭事・行事予定	6
新任のあいさつ／お正月の案内	7
縁起物のご案内／新年福ダルマ授与について／お知らせ	8



QR コード

携帯電話、スマホにて簡単に
ホームページにアクセスできます。

QR コード

「参拝の作法と参拝順序」
まいぶれ上田・東御にアクセスできます。

が あ い さ つ

暦と厄と年祝い



宮司
山崎洋文



思います。厄除けのご祈祷をしていただけたらすべて解決なのですが、なぜ、ご祈祷をするのか、なぜ厄年なのかを少しお話ししましょう。

人の一生にはそれぞれの節目があり、その節目を自覚して生活すると、どんな困難にも負けない張のある幸せな一生が過ごせるといわれています。竹も節があるから重い雪をも跳ね返し寒い冬でも青々と生きています。もし節がなかつたら簡単に倒れてしまうことでしょう。節目を自覚する方法として最もよいも

われは姫姫子育て社会での役職の昇進時期と深く関わっています。仕事の増量や個人にかかる負荷を厄と考えると厄は役と同じ意味と捉えることができます。時代が進んで高齢社会になると、年回りの判断もずれていきます。女性の結婚出産期を十九歳ととらえた時代とはだいぶ話がずれてきました。しかし、この男女の厄年の頃はいまでも重要な転換期とることができます。

現在最も重要な厄年と言えるのは、還暦六十歳で、歳祝いの筆頭になつていった年がいまでは最大の厄年になつてきました。昔は、「長い間の役職ごくろうさまでした、これからゆつくり過ごしてください」というお祝いの年が、第二の人生さい」というお祝いの年が、第二の人生

新しい年を迎えるとカレンダーを新しく掛け替え、新しい暦を求め、迎える年はどんな年かな、いい年でありますようとに願います。

のが、厄除け祈祷とか、七五三やお宮参りなどのお祝い祈祷です。神前で元気でいることに感謝しこれからも守護くださるようにお祈りします。特に生島様、足島様は、すべて物を生み育み、満ち足らしてくれる日本国土のエネルギーなので、そのご神徳は無限の力をもつて皆さんを守ってくれる事でしよう。

の出発として、肉体的にも精神的にも喝を入れる年になりました。

星厄の話を、一例しましよう。易や陰陽道の思想から方角の吉

易や陰陽道の思想から方角の吉凶卜ができました。東西南北とその間の八方位と中央をいれて合わせて九つの星が一定の法則で回っています。生まれた年に中央にある星がその人の星になります。

なお星厄、厄除けなどで詳しいことを
お知りになりたい場合は気軽に宮司お
尋ねください。

皇紀2686年 令和8年丙午歳 祝年・厄年 早見表

星厄（以下生まれ年の方）

はつぼう 八方ふさがり 一白水星 全方位	大7 昭2 昭11 昭20 昭29 昭38 昭47 昭56 平2 平11 平20 平29 令8
きもん 鬼門 四緑木星 北東	大13 昭8 昭17 昭26 昭35 昭44 昭53 昭62 平8 平17 平26 令5
うらきもん 裏鬼門 七赤金星 南西	大10 昭5 昭14 昭23 昭32 昭41 昭50 昭59 平5 平14 平23 令2
さいは 歳破門 六白金星 北(年による)	大11 昭6 昭15 昭24 昭33 昭42 昭51 昭60 平6 平15 平24 令3
かんきゅう 坎宮 六白金星 北	大11 昭6 昭15 昭24 昭33 昭42 昭51 昭60 平6 平15 平24 令3

祝年（以下生まれ年の方）

古希	70歳	昭和32年	卒寿	90歳	昭和12年
喜寿	77歳	昭和25年	白寿	99歳	昭和 3年
傘寿	80歳	昭和22年	茶寿	108歳	大正 8年
米寿	88歳	昭和14年	皇寿	111歳	大正 5年

前厄・本厄・後厄・還暦（以下生まれ年の方）

	前厄	本厄	後厄
男性	平成15年	平成14年	平成13年
	昭和61年	昭和60年	昭和59年
女性	平成21年	平成20年	平成19年
	平成7年	平成6年	平成5年
	平成3年	平成2年	平成元年/昭和64年
還暦（男女）	還暦前厄	還暦大厄	還暦後厄
	昭和42年	昭和41年	昭和40年

より詳しいご案内は
神社暦(300円)をどうぞ

祝年（以下生まれ年の方）

成人祝	20歳※	男女	平成18年※	平成19年※
十三参り	13歳	男女	平成25年	平成26年
七五三(帯解)	7歳	女の子	令和元/平成31年	令和2年
七五三(袴着)	5歳	男の子	令和3年	令和4年
七五三(髪置)	3歳	男の子女の子	令和5年	令和6年

※成人祝は（満/数え）18歳以上の方も出来ます

最高の厄除けの方法は節分の豆まきです。厄年にあたる人は大勢ご参加くだ
さい。

テーマは「夏の神社で見つけた美しい景色」。今年は昨年よりも多くの方にご参加いただき、風鈴や夕暮れ、浴衣姿など、それぞれの目線で切り取られた「夏の神社」が並びました。どの作品からも、境内で過ごすひとときの涼やかさが伝わってきました。

六月の「夏越の祓」を経て、七月から九月にかけて行われた夏詣。今年も多くの方が参拝に訪れ、境内は夏らしい彩りとにぎわいに包まれました。



巫女
清水 彩加

SNSフォトコンテスト

(7月1日～8月31日)

夜間参拝

(8月9日～11日)

竹灯籠の灯りが加わり、夜の境内が幻想的に照らされました。雨の日には飾り方を変えながらも、訪れる方々に楽しんでいただけた三夜となりました。



また、フォトコンテストの表彰式も行われ、夏の思い出を振り返る温かな時間となりました。入賞作品は来年のカレンダーにも掲載予定です。どうぞお楽しみに。

神賑祭

(9月20日)

夏詣の締めくくりとして行われた神賑祭では、歌やブラスバンドの奉納演奏で境内が賑やかに。

枯れ木の伐採

枯れ枝の落下の危険があるため、枯れ木・枯れ枝の伐採を行いました。



神池の水抜き

神池の水を抜き、池内の清掃を行いました。



祭典部長 士屋 秀幸

境内環境整備

今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。



風鈴小道

(7月7日～8月31日)

信州TWAOOの太鼓に加え、シンキングボウルや舞の奉納も行われ、夏の夜を彩る音と光が響き合いました。



祇園祭

(7月26日・27日)

宵祭では三頭獅子舞が勇ましく奉納され、翌二十七日には子ども神輿・大人神輿が境内を巡り、信州TWAOOの太鼓の響きが夏空に広がりました。地元の小学校六年生による浦安の舞も奉納され、地域の皆さまの笑顔が集う一日間となりました。

かみほとナイト

(8月8日)

生島足島神社と長福寺による合同肝試しは、今年で二回目の開催。長福寺では貴重な地獄絵図のお話、生島足島神社ではお盆にまつわるお話があり、謎解きとともに忘れられない夏の夜となりました。

地元の園児の皆さんのが牛乳パックで作った灯ろうが並び、温かみのある光で境内を彩りました。

巫女体験

(8月3日)

第二回目となる巫女体験では、「豊栄の舞」を体験していただきました。参加した皆さんのが印象的でした。

七夕・灯ろう展示

(7月26日～8月6日)



祇園祭

(7月26日・27日)



今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。

風鈴小道

(7月7日～8月31日)

今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。



祇園祭

(7月26日・27日)

宵祭では三頭獅子舞が勇ましく奉納され、翌二十七日には子ども神輿・大人神輿が境内を巡り、信州TWAOOの太鼓の響きが夏空に広がりました。地元の小学校六年生による浦安の舞も奉納され、地域の皆さまの笑顔が集う一日間となりました。

かみほとナイト

(8月8日)

生島足島神社と長福寺による合同肝試しは、今年で二回目の開催。長福寺では貴重な地獄絵図のお話、生島足島神社ではお盆にまつわるお話があり、謎解きとともに忘れられない夏の夜となりました。

地元の園児の皆さんのが牛乳パックで作った灯ろうが並び、温かみのある光で境内を彩りました。

巫女体験

(8月3日)

第二回目となる巫女体験では、「豊栄の舞」を体験していただきました。参加した皆さんのが印象的でした。

七夕・灯ろう展示

(7月26日～8月6日)



今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。

風鈴小道

(7月7日～8月31日)

今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。



祇園祭

(7月26日・27日)

宵祭では三頭獅子舞が勇ましく奉納され、翌二十七日には子ども神輿・大人神輿が境内を巡り、信州TWAOOの太鼓の響きが夏空に広がりました。地元の小学校六年生による浦安の舞も奉納され、地域の皆さまの笑顔が集う一日間となりました。

かみほとナイト

(8月8日)

生島足島神社と長福寺による合同肝試しは、今年で二回目の開催。長福寺では貴重な地獄絵図のお話、生島足島神社ではお盆にまつわるお話があり、謎解きとともに忘れられない夏の夜となりました。

地元の園児の皆さんのが牛乳パックで作った灯ろうが並び、温かみのある光で境内を彩りました。

巫女体験

(8月3日)

第二回目となる巫女体験では、「豊栄の舞」を体験していただきました。参加した皆さんのが印象的でした。

七夕・灯ろう展示

(7月26日～8月6日)



今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。

風鈴小道

(7月7日～8月31日)

今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。



祇園祭

(7月26日・27日)

宵祭では三頭獅子舞が勇ましく奉納され、翌二十七日には子ども神輿・大人神輿が境内を巡り、信州TWAOOの太鼓の響きが夏空に広がりました。地元の小学校六年生による浦安の舞も奉納され、地域の皆さまの笑顔が集う一日間となりました。

かみほとナイト

(8月8日)

生島足島神社と長福寺による合同肝試しは、今年で二回目の開催。長福寺では貴重な地獄絵図のお話、生島足島神社ではお盆にまつわるお話があり、謎解きとともに忘れられない夏の夜となりました。

地元の園児の皆さんのが牛乳パックで作った灯ろうが並び、温かみのある光で境内を彩りました。

巫女体験

(8月3日)

第二回目となる巫女体験では、「豊栄の舞」を体験していただきました。参加した皆さんのが印象的でした。

七夕・灯ろう展示

(7月26日～8月6日)



今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。

風鈴小道

(7月7日～8月31日)

今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。



祇園祭

(7月26日・27日)

宵祭では三頭獅子舞が勇ましく奉納され、翌二十七日には子ども神輿・大人神輿が境内を巡り、信州TWAOOの太鼓の響きが夏空に広がりました。地元の小学校六年生による浦安の舞も奉納され、地域の皆さまの笑顔が集う一日間となりました。

かみほとナイト

(8月8日)

生島足島神社と長福寺による合同肝試しは、今年で二回目の開催。長福寺では貴重な地獄絵図のお話、生島足島神社ではお盆にまつわるお話があり、謎解きとともに忘れられない夏の夜となりました。

地元の園児の皆さんのが牛乳パックで作った灯ろうが並び、温かみのある光で境内を彩りました。

巫女体験

(8月3日)

第二回目となる巫女体験では、「豊栄の舞」を体験していただきました。参加した皆さんのが印象的でした。

七夕・灯ろう展示

(7月26日～8月6日)



今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。

風鈴小道

(7月7日～8月31日)

今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。



祇園祭

(7月26日・27日)

宵祭では三頭獅子舞が勇ましく奉納され、翌二十七日には子ども神輿・大人神輿が境内を巡り、信州TWAOOの太鼓の響きが夏空に広がりました。地元の小学校六年生による浦安の舞も奉納され、地域の皆さまの笑顔が集う一日間となりました。

かみほとナイト

(8月8日)

生島足島神社と長福寺による合同肝試しは、今年で二回目の開催。長福寺では貴重な地獄絵図のお話、生島足島神社ではお盆にまつわるお話があり、謎解きとともに忘れられない夏の夜となりました。

地元の園児の皆さんのが牛乳パックで作った灯ろうが並び、温かみのある光で境内を彩りました。

巫女体験

(8月3日)

第二回目となる巫女体験では、「豊栄の舞」を体験していただきました。参加した皆さんのが印象的でした。

七夕・灯ろう展示

(7月26日～8月6日)



今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。

風鈴小道

(7月7日～8月31日)

今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。



祇園祭

(7月26日・27日)

宵祭では三頭獅子舞が勇ましく奉納され、翌二十七日には子ども神輿・大人神輿が境内を巡り、信州TWAOOの太鼓の響きが夏空に広がりました。地元の小学校六年生による浦安の舞も奉納され、地域の皆さまの笑顔が集う一日間となりました。

かみほとナイト

(8月8日)

生島足島神社と長福寺による合同肝試しは、今年で二回目の開催。長福寺では貴重な地獄絵図のお話、生島足島神社ではお盆にまつわるお話があり、謎解きとともに忘れられない夏の夜となりました。

地元の園児の皆さんのが牛乳パックで作った灯ろうが並び、温かみのある光で境内を彩りました。

巫女体験

(8月3日)

第二回目となる巫女体験では、「豊栄の舞」を体験していただきました。参加した皆さんのが印象的でした。

七夕・灯ろう展示

(7月26日～8月6日)



今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。

風鈴小道

(7月7日～8月31日)

今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。



祇園祭

(7月26日・27日)

宵祭では三頭獅子舞が勇ましく奉納され、翌二十七日には子ども神輿・大人神輿が境内を巡り、信州TWAOOの太鼓の響きが夏空に広がりました。地元の小学校六年生による浦安の舞も奉納され、地域の皆さまの笑顔が集う一日間となりました。

かみほとナイト

(8月8日)

生島足島神社と長福寺による合同肝試しは、今年で二回目の開催。長福寺では貴重な地獄絵図のお話、生島足島神社ではお盆にまつわるお話があり、謎解きとともに忘れられない夏の夜となりました。

地元の園児の皆さんのが牛乳パックで作った灯ろうが並び、温かみのある光で境内を彩りました。

巫女体験

(8月3日)

第二回目となる巫女体験では、「豊栄の舞」を体験していただきました。参加した皆さんのが印象的でした。

七夕・灯ろう展示

(7月26日～8月6日)



今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。

風鈴小道

(7月7日～8月31日)

今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。



祇園祭

(7月26日・27日)

宵祭では三頭獅子舞が勇ましく奉納され、翌二十七日には子ども神輿・大人神輿が境内を巡り、信州TWAOOの太鼓の響きが夏空に広がりました。地元の小学校六年生による浦安の舞も奉納され、地域の皆さまの笑顔が集う一日間となりました。

かみほとナイト

(8月8日)

生島足島神社と長福寺による合同肝試しは、今年で二回目の開催。長福寺では貴重な地獄絵図のお話、生島足島神社ではお盆にまつわるお話があり、謎解きとともに忘れられない夏の夜となりました。

地元の園児の皆さんのが牛乳パックで作った灯ろうが並び、温かみのある光で境内を彩りました。

巫女体験

(8月3日)

第二回目となる巫女体験では、「豊栄の舞」を体験していただきました。参加した皆さんのが印象的でした。

七夕・灯ろう展示

(7月26日～8月6日)



今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。

風鈴小道

(7月7日～8月31日)

今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方にご奉納をいただきました。参道いつぱいに響く音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。



祇園祭

(7月26日・27日)

宵祭では三頭獅子舞が勇ましく奉納され、翌二十七日には子ども神輿・大人神輿が境内を巡り、信州TWAOOの太鼓の響きが夏空に広がりました。地元の小学校六年生による浦安の舞も奉納され、地域の皆さまの笑顔が集う一日間となりました。

かみほとナイト

(8月8日)

生島足島神社と長福寺による合同肝試しは、今年で二回目の開催。長福寺では貴重な地獄絵図のお話、生島足島神社ではお盆にまつわるお話があり、謎解きとともに忘れられない夏の夜となりました。

地元の園児の皆さんのが牛乳パックで作った灯ろうが並び、温かみのある光で境内を彩りました。

巫女体験

(8月3日)

第二回目となる巫女体験では、「豊栄の舞」を体験していただきました。参加した皆さんのが印象的でした。

七夕・灯ろう展示

(7月26日～8月6日)



山崎宮司 就任披露パーティー



令和六年十一月一日生島足島神社の新宮司として山崎洋文宮司を迎えるました。それに基づき、令和七年五月二十七日に就任披露宴を行いました。神社関係一五〇人、行政関係一〇人、宮司知人に加え、山崎宮司は筑北村図書館長や保護司、調停と七色の名刺を持つ男性だけでも七〇人も集まる印象な光景に加え、保護司の住職さんが集まり、神仏集合とはまさにこのことか！と思う景色が私の目に写りました。

ここで少し山崎宮司の経歴を紹介します。

昭和五十三年に松本市の四柱神社で神職として歩み始められ、白山神社や諏訪神社など、県内各地の神社で長年にわたり奉仕してこられました。

また、神職としての奉仕にとどまらず、長野県神社庁の教化講師として指導にあたるほか、家庭裁判所の調停委員、保護司、図書館長など、地域社会に深く関わり、多方面でご尽力されていました。これまでの功績が認められ、文化

令和六年十一月一日生島足島神社の新宮司として山崎洋文宮司を迎えるました。それに基づき、令和七年五月二十七日に就任披露宴を行いました。神社関係一五〇人、行政関係一〇人、宮司知人に加え、山崎宮司は筑北村図書館長や保護司、調停と七色の名刺を持つ男性だけでも七〇人も集まる印象な光景に加え、保護司の住職さんが集まり、神仏集合とはまさにこのことか！と思う景色が私の目に写りました。

ここで少し山崎宮司の経歴を紹介します。

昭和五十三年に松本市の四柱神社で神職として歩み始められ、白山神社や諏訪神社など、県内各地の神社で長年にわたり奉仕してこられました。

また、神職としての奉仕にとどまらず、長野県神社庁の教化講師として指導にあたるほか、家庭裁判所の調停委員、保護司、図書館長など、地域社会に深く関わり、多方面でご尽力されていました。これまでの功績が認められ、文化



巫女
樋口真衣



就任披露宴の準備に携わった一人として、会場選びから招待状の作成、当日の運営に至るまで、多くの方々のお力添えをいただきながら進めてまいりました。準備は大変でしたが、式当日は地域の皆様の温かな笑顔と祝福の雰囲気に包まれ、これまでの苦労が報われる思いでした。晴れやかで厳かな中にも温かさを感じられる素晴らしい式とな

り、改めて地域の皆さまに支えられていることを実感いたしました。就任披露宴が無事に終えられたことを心より嬉しく思うとともに、生島足島神社が新たな歩みを進める節目に立ち会えたことを大変光栄に感じております。

山崎宮司はじめ職員十二名と工藤総代長率いる総代十九名の新たな体制のもと、これまで以上に地域の皆様に親しまれ、心の拠り所となる神社であり続けられるよう、職員一同努めてまいります。

今度とも変わらぬご崇敬とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



十二月～四月までの祭事・行事予定

月次祭 つきなみさい
(毎月朔日 午前九時) 一月は斎行しない

十二月



十三社例祭 じゅうさんしゃれいさい
(十二月二十五日 午前十時)
古神札(神符守札) 焼納式 こしんさつ(しんぶしゅさつ) しょうのうしき
十二月の大祓式(師走の大祓) じゅうにがつのおはらいしき(しわすのはらえ)
越年除夜祭 えつねんじよやさい
(十二月三十一日 午後三時) (十二月中)
(十二月三十一日 引き続き)



一月
歳旦祭 さいたんさい
(一月一日 午前七時) 正月元旦
御門祭 みかどまつり
荒魂社例祭 あらみたましやれいさい
(一月八日 午前八時)
御筒粥ト(占) 神事 おつつがゆうらないしんじ
(一月十四日 夜 御籠祭後引き続き)
御筒粥ト(占) 奉生祭及臺目鳴弦並蛙
狩神事 おつつがゆうらないほうこくさいおよびひきめいげんならびにかわざがりしんじ
(一月十五日 午後一時) 旧成人の日



二月
節分追儺祭 せつぶんついなさい
(二月三日 午後二時)
会員年度表彰 鬼やらい豆撒き
紀元祭並神位祭 併祈年祭 きげんさいならびにしんいさい
あわせてきねんさい
天長祭 てんちょうさい
(二月十一日 午前十時) 建国記念の日
天皇誕生日 てんのうたんじゆ
(二月二十三日 午前十時) 天皇誕生日
(二月上旬)

三月
神社總代就任奉告祭並委嘱書交付式 じんじやそうだいしゅうにんほうごく
さいならびにいしょくしょこうふしき
(三月二十六日 午後四時)



四月
御遷神事(諏訪様還座祭) おうつり
しんじ(すわさまかんざい)
摶社諏訪神社(下宮) 例祭 せつしや
すわじんじや(しものみや)れいさい
御本社春季祭(上宮) しゅんきさい
(かみのみや)
昭和祭 しようわさい
(四月二十日 右例祭に引き続き)
(四月二十九日 午前九時) 昭和の日

新任のあいさつ



出仕

横山実早紀

十月より出仕として奉職することとなりました横山実早紀と申します。

平成二十三年よりご巫女として奉仕しておりますが、この度機会をいただきまして、神職として新たに出発いたします。神職の資格取得の為に勉強する中で改めて気づく事も多く、またご神前での作法等はまだ覚束ない所ばかりで、日々至らなさを痛感しております。先輩神職の皆さんに教えていただきながら、一日でも早く立派な神職になれるよう頑張りたいと思います。

また資格取得にあたっては、八月から一ヶ月渋谷の國學院大學で学ばせて頂きました。その間留守にしてしまうにも関わらず、気持ちよく送り出してくれた職員・総代の皆さんには感謝の思いでいっぱいです。

神様にお仕えするという緊張感を持ち、また支えてくれる皆様や、様々なご縁をいただけた事に感謝を忘れず、日々奉仕していきたいと思います。

まだまだ学ぶことの多い身ですのですが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

お正月の案内

今年の夏は猛暑日が続き、ようやく過ごしやすくなつたと思えば今度は急に寒くなつたりと、気温の変化に戸惑う日々が続いています。この神社便りが発行される頃には本格的な冬を迎える頃でしようか。

来年は午年ですが、皆さんは馬と言は力強く大地を駆けることから、活力が湧き飛躍の年と言われています。また「幸運が駆け込んでくる」「物事がうま(馬)いく」など言われる年でもあります。

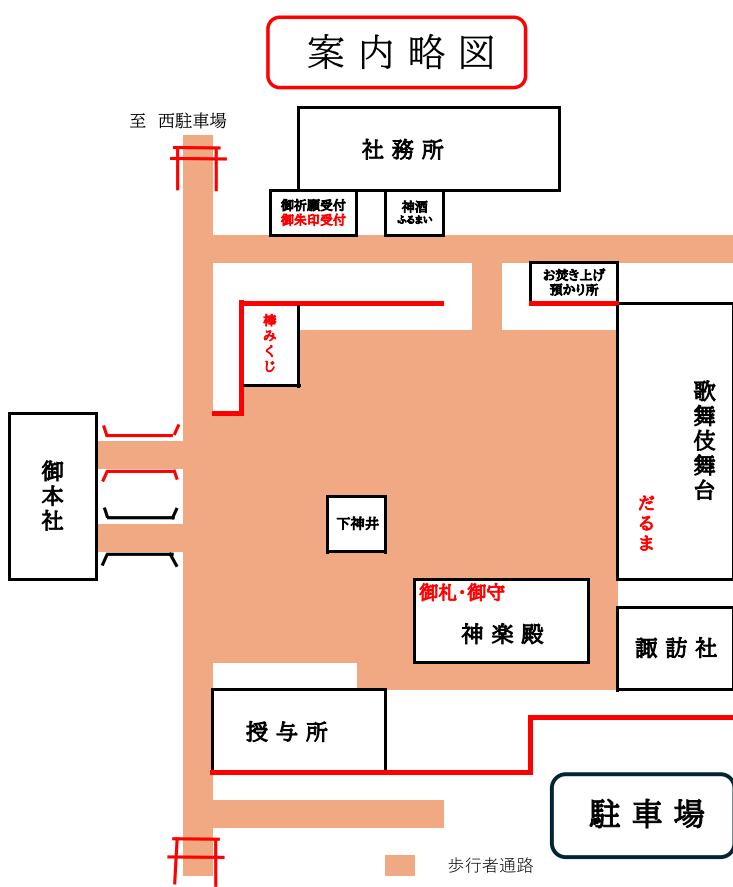
当社では十二月三十一日深夜の二年参りから一月十五日の小正月までをお正月の大きな区切りとし、大晦日からは縁起物や干支に因んだ御守を授与いたします。授与所の開所時間は、大晦日の二年参りは二十三時頃～一時頃、元旦は朝六時～夜二十一時を予定しております。また二日三日も朝七時～夜二時と、普段より長く開けておりますので、ゆっくりとご参拝ただければと思います。また混雑防止の為、授与所など通常と場所を変更している箇所がございます。詳しくは神社ホームページ

や公式インスタグラムを確認ください。

またこの期間は毎年恒例の副だる市があり、ご希望の方にはその場で目入れ・巫女による鈴祓いを行います。当社でだるまを授与するのはこの期間のみとなっておりますので、ぜひお越し下さい。(副だるま市は状況によって早めの時間に閉まる場合がございますので、午前中の参拝がおすすめです)

境内では御札御守や縁起物のお焚き上げも承っております。縁起物をお預けください。(副だるま市は状況によって早めの時間に閉まる場合がございますので、午前中の参拝がおすすめです)

他にも御神酒の振る舞いや新年の御朱印など、皆様に喜んでいただけるような物を企画しております。新年のお参りはぜひ生島足島神社へお越しください。職員一同お待ちしております。



縁起物のご案内



新しい年の干支は「午(うま)」です。

馬は力強く駆ける姿から「福を運ぶ」
「物事が順調に進む」といわれ、古くから
幸運の象徴とされています。まつすぐ進
む姿には「努力が実を結ぶ」「新しい道が
開ける」といった前向きな意味も込めら
れています。新しい年に向けて良いスター
トを切りたいという方にはぴったりの干
支ですね。

干支にちなんだお守り・縁起物も充
実しております。レース生地のお守りや、
可愛らしい干支の土鈴、干支付きの破魔
矢やおみくじなど、新年に彩る授与品を
多数ご用意しております。



数に限りがありますので、ご希望の方
はお早めにお越しください。

正月から新規授与品を紹介します。

今年の夏に大好評だった「ひまわりの
刺繡守」に続き、「梅の刺繡守」が登場し
ます。

梅は寒さの中でも花を咲かせることか
ら「希望」や「再生」を象徴する花。優し
い色合いの刺繡が心を和ませ、年の初め
のお守りとしておすすめです。

ころんとした形が可愛い「勾玉型鈴
守」は「開運・厄除・魔除」の意味を持つ
お守りです。

勾玉は古くから身を守る力があると
され、音の鳴る鈴守として「熊よけ」にも
ぴったりです。

こちらもぜひ合わせてお受けください。
来年も皆さまの一年が穏やかで健やか
なものとなりますよう、心よりお祈り申
し上げます。

新年福ダルマ 授与について

生島足島神社の新年福ダルマ
は、一般の販売店のダルマと異
なり、ご祈祷・お祓いして、御
神札・福章と合わせて授与致し
ます。

取扱時間

元旦～五日

・朝八時～午後五時頃
・朝八時半～午後五時頃

(注意: 終了時間は天候等状況によ
り異なりますので午前中の参拝を
お勧めいたします)



夢うさぎ 写真室 Tel.0120-110-186-111753



写真室からのお知らせ

写真室では成人式のお写真・
振袖レンタルをお受けしております。

お早めのご予約をお勧めいたします。
また、卒業式の着物・袴のレンタルも
ございます。

節目の記念はぜひ、お写真を残しま
しょう。

キリトリ線



コーヒー 1月31日まで
無料券

- コーヒーは無効
- 12月30日～1月8日は使用
できません

そば処 生島の社 Tel.38-18867

生島の社 そば処

生島の社は、年末の厄祓い・年始の
厄除け後の一ひと時を、心からのオモテ
ナシで、ゆっくりお食事ができるよう
努めて、皆さんのご来店をお待ちして
おります。